

授業改善推進プラン〈美術〉

1 指導目標

- ・対象を観察し、自然の美しさや構造物の造形的な美しさを感じ取ることができるようにする。
- ・試行錯誤を通して、発想や構想を深め、創意工夫をして作品を作ることができるようにする。
- ・多様な材料や用具に応じて、表現方法を工夫する能力を養う。

2 平成25年度における考察と課題

- ・一斉指導に対応できない生徒に対する個別指導の工夫に課題が残った。
- ・3年間を見通した教材選択・評価計画を立て、実施できるように改善していきたい。
- ・試行錯誤するなかで、自発的に表現を工夫・創造する姿勢を育てる。
- ・学校公開や作品展等を利用して、作品展示を積極的におこなう。
- ・授業を通して、美術の力が養われたと回答した生徒が増えた。

3 平成26年度へ向けての改善のポイント

- ・特別に支援を必要とする生徒や作業理解の困難な生徒に対して、個別の対応を工夫する。
- ・美術室でのルールを再確認させ、授業規律を徹底する。
- ・二つ以上の教材を同時進行させ、進度の早い生徒には先の教材を制作できるようにする。

4 評価の工夫

観点項目	観点項目の趣旨	おもな評価内容
美術への関心 ・意欲・態度	・目標を持って創作活動に取り組み、制作の喜びを味わい、美術を愛好しているか。 ・よりよい表現を目指して、試行錯誤を重ねた工夫をしているか。	提出物 用具・材料の準備・片付け 授業観察
発想や構想の能力	・材料・用具の特性を生かした表現、用途に応じた表現の構想を練ることができたか。 ・観察による構想、独創的な発想をすることができたか。	ワークシート 実技作品 定期テスト
創造的な技能	・材料や用具の使い方を理解し、それを効果的に生かして表現することができたか。 ・表現意図に応じて、表現方法を自分らしく工夫して制作できたか。	スケッチ 実技作品 定期テスト
鑑賞の能力	・さまざまな自然、美術作品、生徒作品から、美しさや多様な表現のよさを感じ取ることができたか。 ・生活を心豊かにする美術の役割について、考えることができたか。	定期テスト 鑑賞プリント